



## 戸田市のごみ問題

高齢化でごみ集積所の管理がさらに困難に

戸田の会  
みやうち  
宮内 そうこ 議員

**Q** 市民のごみの悩みを聞く相談窓口を

**A** 現在でも環境課で対応している

**議員** 市民からごみに関する相談が増えており、ごみの問題に悩む市民は非常に多いと感じる。ルールを守らない人が原因で荒れたごみ集積所への対策は。

**環境経済部長** 定期的なパトロールで監視している。

**議員** 誰もが不法投棄を通報できる「不法投棄 110 番」や LINE 通報システムなど、窓口の一元化を。

**環境経済部長** 既存の窓口をホームページで周知する。

**議員** 荒れた集積所へセンサーライトの貸し出しは。

**環境経済部長** 衛生自治会の交付金で購入可能である。

**議員** それでは申請に時間がかかる。迅速な対応を。また、古い籠は重ねると外しにくい、その対応は。

**環境経済部長** 相談をいただければ交換など対応する。

**議員** ごみの戸別収集について市の考えは。

**環境経済部長** 財政面や市民生活への影響が大きい事項であり、引き続き調査・研究していく。

**議員** 高齢化に伴い、今後ますますごみ集積所の管理が困難になる。多くの地域で課題を抱えており、市が相談窓口を設置し、積極的に解決に取り組んで欲しい。



ルールを守らない人が原因で荒れた集積所



## 公共施設のピアノ

市民誰もが気軽にピアノに触れる機会を！

戸田の会  
さとう たかのぶ  
佐藤 太信 議員

**Q** ピアノ貸出可能施設一覧表の掲載を

**A** 市ホームページ等に掲載、周知する

**議員** 市民からは「子供がグランドピアノやアップライトピアノに触れる機会が公共施設にあると良い」との声がある①利用できるグランドピアノがある市内の公共施設は②ピアノを利用したい場合、公共施設ごとに確認しなければならない。公共施設のピアノ貸出可能施設一覧表を、市ホームページなどに掲載を③市民が利用できるピアノの拡大を④福祉センターの再整備を含めた今後の公共施設の再編の際に、ピアノの設置など、文化芸術に関する市民の声が反映されるのか。

**市民生活部長** ①貸出可能なグランドピアノは、文化会館に5台、さくらパルに1台、新曽福祉センターに1台設置されている②利便性を向上させるため、市ホームページなどにおいて掲載、周知する。

**こども青少年部長** ③こどもの国では、今後、職員が見守る中で、子供たちがグランドピアノを弾くことができるイベントなどについて検討する。

**企画財政部長** ④福祉センターは、市民ワークショップを通して、さまざまな世代の方に利用してもらえる施設を目指して検討を進める。他の公共施設の建替えなどの際にも同様に、可能な限り多様な意見に耳を傾け、ニーズを捉える。



戸田市文化会館多目的ルームのグランドピアノ



## 横断歩道で手を上げよう

大人や子供も横断歩道でハンドサイン！

戸田の会  
のざわ しげ まさ  
野澤 茂雅 議員

**Q** 横断歩道で歩行者をより認識するには

**A** KEEP38プロジェクトを推進していく

**議員** 本市の交通事故発生状況は、前年比 24.5% 増の 234 件。県内では 2 番目に高い増加率である。さらに、信号機のない横断歩道での車の一時停止率は、埼玉県 50.08%、長野県 87.0%。この大きな差を埋めるためのハード面、ソフト面における対策は。

**都市整備部長** 横断歩道付近にラバーポール、路面標示、注意喚起看板を設置している。また、埼玉県警と連携し、横断歩道における歩行者優先に関する取り組み「KEEP38 プロジェクト」を進めている。

**議員** 信号機のない横断歩道における車の一時停止は、「運転者がいかに歩行者に気がつくか」がポイントである。長野県の手を上げる運動は子供の頃から習慣づけられ、当時の子供が大人になって運転するようになってからも習慣が身につけているため、歩行者、運転者双方のマナー意識が高い。本市の小中学校での指導は。

**教育部長** 今年度は特に、横断歩道を横断する際は、手を上げるなどハンドサインで横断する意思表示を運転者に示すよう各校で指導した。

**議員** 手を上げると 8 割以上の車両が止まるとされている。大人も子供も信号機のない横断歩道で手を上げる取り組みを推進するよう引き続き要望する。



信号機のない横断歩道の交通安全



## 課題解決型学習

学校での学びの意味が実感できる教育に感動

とだ彩光会  
はやし ふゆ ひこ  
林 冬彦 議員

**Q** 戸田型PBLで子供たちに期待する効果は

**A** 実社会や実生活で生きて働く力の習得

**議員** 市立小・中学校の総合的な学習時間で行われている課題解決型学習「戸田型 PBL」を行う意図は何か。

**教育部長** 教科等の枠を超えた探究的な学習を通して、各教科等で学んだことを活用し、より良い課題の解決と自身の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを意図している。本市では特に地域や社会との関わりを大切に、子供たちが実社会や実生活で生きて働く力を身につけていけるよう努めている。

**議員** 取り組みを行った際の子供たちへのフォローは。

**教育部長** 取り組みから学ぶことが実社会・実生活とつながった学びであると捉えている。戸ヶ崎教育長が就任以来大切にしている「脱・予定調和の学び」への挑戦に向け、失敗を恐れないことの実現と捉え、さらなる探究活動の原動力となるよう指導を行っている。

**議員** 先般、戸田東小・中学校の研究発表会に参加し、授業における児童生徒の取り組みの姿や表情、話を伺った教員の方々の様子から、戸田型 PBL は皆がともに成長する取り組みだと実感した。昭和や平成中期までとは違う教育の姿がここにある。多くの方にこの現場を見ていただき、本市の教育の姿を知ってほしい。引き続き取り組みを進めていただきたい。応援する。



東小・中学校の研究発表会チラシ